

総務委員会 資料

平成24年7月13日（金）

請願第43号 川崎市立小・中学校の学校図書館に  
学校司書の配置をめざすことに関する請願

資料 学校図書館の活動について

教育委員会

# 学校図書館の活動について

## 1 学校における読書活動

- (1) 全校一斉の朝読書、休み時間の図書館利用や図書ボランティア・教諭による読み聞かせ、ブックトーク（あるテーマに沿って複数の本の内容を紹介し、読書意欲を起こさせる活動）など幅広い活動を実施。
- (2) 小中学校の図書委員会の児童生徒による読み聞かせや、ブックトーク、読書カードの活用、お勧めの本の紹介など、児童生徒の創意を生かした取組も近年充実。
- (3) 高学年が低学年の児童生徒に読み聞かせをするなど、児童生徒指導上、心の教育の面でも有効な取組を実施。
- (4) こども祭りや、バザー等の際に、図書ボランティアの読み聞かせコーナーにおいて、校長・教頭等による読み聞かせタイムを取り、保護者・学校連携のもと、読書活動を実施。
- (5) 学校図書館の図書・統計資料は、総合的な学習の時間や社会科などの各教科等の学習活動を通して活用。

## 2 学校図書館の業務等

- (1) 司書教諭、図書ボランティア及び学校図書館コーディネーターが連携し、図書資料の選定・提供、蔵書管理、図書館の管理運営、読書環境の整備、相談業務（レファレンス）、授業への支援などを実施。
- (2) 平成20年度から学校図書館総合システムが稼働し、コンピュータを活用しての資料検索や貸出・返却を実施。また、市立図書館の貸出システムと連携し、市立図書館の蔵書も検索可能。

### ○司書教諭

- ・学校図書館活用の全体計画や図書選定・整理の計画を立てるとともに、図書委員会の児童生徒の指導、読書指導計画の作成と実施、カリキュラム編成の協力、教員の教材研究の援助・協力。
- ・図書ボランティアの窓口、図書館情報の発信などを実施。
- ・学校図書館法では、12学級以上の学校には置かなければならないと規定。
- ・資格は、主幹教諭、指導教諭又は教諭で司書教諭の講習（5科目10単位）を終了した者。

#### ・司書教諭の発令状況

	全国・公立(H22)	本 市(H24)
小学校	62.6%	97.3%
中学校	58.9%	98.0%
高等学校	83.3%	100.0%

小学校は、113校中110校に配置  
中学校は、51校中50校に配置

### ○図書ボランティア

- ・約4,300名（平成24年度）の図書ボランティアの方々が、様々な活動を学校で展開。
- ・活動内容は、多岐にわたり、本の読み聞かせ、ブックトークや図書館の環境整備等に協力を頂戴。

#### ・本市の図書ボランティア数

	H23	H24
小学校	3,167人	4,092人
中学校	112人	162人
高等学校	1人	0人

#### ・図書ボランティアの活動状況 (本市調べ)

	全国・公立(H22)	本 市(H24)
小学校	78.7%	100.0%
中学校	24.1%	39.2%
高等学校	2.7%	0.0%

### ○学校図書館コーディネーター

- ・平成15年度から各学校の図書館活動の活性化と読書活動の充実のため、本市独自の取組みとして、各区に学校図書館コーディネーターを配置
- ・平成15年度から各区1名⇒平成17年度から各区2名⇒平成21年度から各区3名体制に計画的に増員

### ○学校図書館担当職員(いわゆる「学校司書」)

- ・制度上の設置根拠、業務の定めはないが、専門的な知識・経験を有する職員。

## 詳細

	学校図書館コーディネーター	学校図書館担当職員(いわゆる「学校司書」)
法的な設置根拠	・制度上の設置根拠なし	・制度上の設置根拠なし
業務内容	<b>【業務】</b> ・学校図書館の図書の選定・整理、環境整備、図書館総合システムに関わるアドバイス、図書ボランティアや図書委員会への指導助言等を実施 ・図書ボランティア研修会の実施。 (平成23年度は24回実施)	<b>【業務】</b> ・制度上の業務の定めなし ・図書整備とともに、児童生徒と本をつなぐ役割
資格	・司書、司書補又は司書教諭	・制度上の資格の定めなし ・各地方公共団体における採用時には、それぞれの実情に応じ、司書資格や司書教諭資格、教諭免許状、相当実務経験等の資格を求める等の資格要件を定めて「学校司書」を募集。
勤務形態	・非常勤、週2日、13時間勤務	・常勤又は非常勤
その他	・平成21年度から各区3名体制に拡充。(合計21名) 現在は一人当たり約8校を担当。	-

\* 市立高等学校は専門図書を備えているため、全校に司書資格を有している事務職員を配置

\* 学校図書館コーディネーターは、制度上の位置づけとして学校司書に該当している(文部科学省見解)

### ・学校図書館担当職員(いわゆる「学校司書」)の配置状況

(平成22年5月1日現在)

	学校数(A)	学校図書館担当職員を配置している学校数(B)	
			割合(B/A)
小学校	全国・公立	21,471	9,612 44.8%
	本市(小・中)	164	21 12.8%
中学校	全国・公立	10,634	4,913 46.2%
	本市(小・中)	164	21 12.8%
高等学校	全国・公立	5,087	3,528 69.4%
	本市	5	5 100.0%

常勤の学校図書館担当職員を配置している学校数(C)	
	割合(C/A)
2,071	9.6%
0	0.0%
1,347	12.7%
0	0.0%
2,975	58.5%
5	100.0%

### 3 「読書のまち・かわさき」の取組

○かわさき読書週間(10月28日～11月10日)

- ・各学校では、図書委員会児童生徒による読み聞かせ、全校一斉読書、読書集会、おすすめ本の紹介等、学校の特色を活かした取組を実施。
- ・児童生徒を対象にした読書標語、読書ポスターの募集
- ・各区公立図書館での読書イベントの開催(読み聞かせ・お話会など)

○かわさき読書の日のつどい(11月)

- ・読書活動優秀団体の表彰、講演等の実施。

○子ども読書カレンダーの作成・配付(12月)

- ・「かわさき読書の日のつどい」の優秀作品を掲載して、学校・公立図書館・書店等に配付。

○川崎フロンターレと本を読もう事業

- ・公立図書館や小学校での読み聞かせの実施。

○かわさき子ども読書100選の作成・配布

- ・良質な本と出会えるよう、おすすめの本をかわさき子ども読書100選として、小学生版・中学生版を作成・配布し、児童生徒の身近なブックリストとして活用。

○読書活動実践奨励校表彰

- ・川崎北ライオンズクラブの御協力による読書活動実践奨励校表彰の実施。

### 4 新総合計画(川崎再生フロンティアプラン第3期実行計画)

事業名	現状	事業内容・目標			
		2011年度 (H23年度)	2012年度 (H24年度)	2013年度 (H25年度)	2014年度以降 (H26年度以降)
<p>読書のまち・かわさき推進事業</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">学校・地域・家庭においてさまざまな読書活動を推進するための環境整備を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校における朝読書・読み聞かせブックトークの実施</li> <li>●図書館コーディネーターの配置による読書環境の充実</li> <li>●川崎フロンターレ等との連携による読書推進事業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校における朝読書・読み聞かせブックトークの実施</li> <li>●図書館コーディネーターの配置による読書環境の充実</li> <li>●川崎フロンターレ等との連携による読書推進事業の推進</li> </ul>	<p>●「かわさき読書100選(小学校低学年版)」の改訂・発行</p>	<p>●「かわさき読書100選(小学校高学年版)」の改訂・発行</p>	<p>事業推進</p>